

市民オンブズマンわかやま

ニュース NO80

発行責任者 畑中 正好 発行日 2010年7月20日
連絡先 和歌山市十二番丁10番地 和歌山合同法律事務所内
TEL 073-433-2241 FAX 073-433-2767
http://www.naxnet.or.jp/~wa_obz/ Eメール wa_obz@naxnet.or.jp

県卓球協会、補助金不正受給問題

住民監査請求で県教委の責任を追及

全額返還で終結へ

県卓球協会が、昨年6月に和歌山市で開催した「ジャパンオープン・荻村杯2009国際卓球選手権和歌山大会」の運営費を補助する県900万円、和歌山市400万円の補助金を不正受給していたこの問題で、私達は、6月23日、県教委の責任を追及するため県に住民監査請求をしました。県卓球協会が、7月5日、不正受給していた補助金の全額を返還したため終結へ。

この問題は、私達の責任を追及するため県調査により、卓球大会の運営を担当した県卓球協会が、入場料及び企業協賛金などの収入を隠し、同大会の運営費を補助する県900万円、和歌山市400万円の補助金を、不正に受給していることが分かったことから、マスコミと連携して追及。

県卓球協会が、約1610万円の収入を隠していた事実をまず、マスコミが暴露。続いて、私達が、県教委の調査により、卓球大会の運営を担当した県卓球協会が、入場料及び企業協賛金などの収入を隠し、同大会の運営費を補助する県900万円、和歌山市400万円の補助金を、不正に受給していることが分かったことから、マスコミと連携して追及。

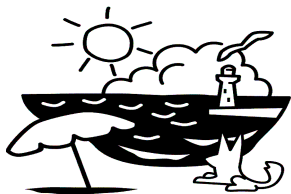
この問題により、日本卓球協会が主催する同様の大会の運営費を賄うための収入として、主催団体の負担金及び補助金以外に、大会運営によって生じる入場料や、職員が、同行の県卓球協会幹部から接待をうけた2回分の昼食代と

この問題は、私達の責任を追及するため県調査により、卓球大会の運営を担当した県卓球協会が、入場料及び企業協賛金などの収入を隠し、同大会の運営費を補助する県900万円、和歌山市400万円の補助金を、不正に受給していることが分かったことから、マスコミと連携して追及。

夕食代について、その接待費に補助事業費を充当支出することは、公金の2重支出であり不適切であるとしませんでした。

住民監査請求の二日後、県は、県卓球協会に対し全額の返還請求をしたこと及び、県教委の担当者及びその上司を訓告や嚴重注意の処分にする公表。

その後の7月5日に、県卓球協会が、県及び和歌山市の補助金をそれぞれ全額返還したことが分かりました。



詐欺に等しい ピンハネ・利得行為

わち、誤信させるような報告は、詐欺に等しいのです。井上 住民監査請求には、詐欺に等しい意図的な事業収入のピンハネ・利得行為としていました。ピン

ハネがびつたりですね。

迫間 その一、意図的な点について、もう少し……。

畑中 計画段階に、想定していない収入が生じたというようなものではないからです。

阪谷 最初から分かっていたって隠したと。

畑中 そう。何故かという……。

井上 2008年に行われた横浜大会を視察したことによって、大会の運営経費を賄う収入が、どのような収入で賄われるのかを把握していたからでしょう。

畑中 そうです。和歌山大会として行われた卓球大会は、特別に今年だけ行われたものではなく、日本卓球協会が主催する

荻村杯という選手権大会で毎年、どこかで行われているのです。

迫間 だとすれば、収入の構成は、同じじゃないですか。どの大会も。

畑中 でね。横浜大会では、収入が、負担

金や補助金以外に、入場券収入や企業協賛金収入などを含めて賄われていました。

迫間 どうして分かったのですか。

畑中 横浜大会を視察した県教委職員らの視察復命書に記載されていたからです。

その視察は、県卓球協会幹部2名と同行視察していただいたのです。

阪谷 じゃ、明らかじゃないですか。意図的に隠したことが。

畑中 その上、補助金交付申請を行う前から企業協賛の依頼を

08年9月頃から行っていたことや、09年2月にはすでに、50万円の企業協賛金収入を得ていたことも

分かっています。

迫間 それは悪質ですね。

井上 監査請求では、印刷代についても指摘していました。

畑中 はい。広告協賛は、協賛に応じた企業の広告がプログラムに掲載されています。入場料も、販売

するためにチケットが作成されています。これらの印刷作成代が、収支報告の支出に計上しているのです。

迫間 それ、ひどいですね。支出を計上すればその収入も計上するのは当然でしょう。収入を抜いて取り込む、やっぱり詐欺だ。

畑中 と言う他にないでしょう。でね、県

も騙されたのかと言うと、そうではないのです。

迫間 え……。井上 監査請求では、「県卓球協会と県教委とが意を通じた不正行為」だと指摘し

交付手続き担当した県教委と

意を通じた不正行為



県卓球協会の補助金不正受給問題を切る

功、奏したマスコミの追及

阪谷 畑中さん。私達

が慎重に調査を進め

ていた県卓球協会の

補助金不正受給問題。

全額の返還で結着し

そうじゃないでか。

畑中 今回は、マスコ

ミと連携して追及し

ましたが、マスコミ

の追及が功を奏した

といえます。いずれ

にしても、是正は、

大きな成果です。

井上 私達も住民監査

請求しました。

畑中 ええ、しました

県に対してね。

迫間 ちょっと待って

くれませんか。問題

の事実関係や不正の

内容などについては、

殆ど知らないのです、

最初から説明してく

れませんか。

井上 そうですよ。こ

の問題取り上げるの

初めてですから、読

者のためにも。

畑中 分かりました。

では、どのあたりか

ら……。

阪谷 確か、県が90

0万円、和歌山市が

4000万円で、昨年、

和歌山市で開催され

た「ジャパンオーブ

ン・荻村杯2009

国際卓球選手権和歌

山大会」の運営費を

補助するために交付

された補助金だった。

畑中 そうです。

井上 日本卓球協会が

主催し、国際卓球協

会が共催し、運営を

担当したのが県卓球

協会だった、ですね。

畑中 はい。

阪谷 県卓球協会が、

補助金を受給するた

めに提出した収支報

告書には、収入を隠

して報告し、補助金

がなければ運営が賄

えないかのように偽

っていた。

畑中 ええ。そのとお

りです。

井上 収支報告書に記

載せず隠していた収

入が、

入場料

約600万円

企業協賛

約666万円

祝い金、競技者

登録費等

約344万円

の合計1610万円

だった。

迫間 えっ。そんな多

額を、ですか。補助

金の合計が確か13

00万円。それを遙

かに超えているじゃ

ないですか。

井上 補助金の、取り

込み詐欺と言えませ

んか。

阪谷 収入を隠したの

ですから取り込み詐

欺でしょう。

井上 住民監査請求で

は、大会で生じる収

入が生じないと誤信

させていると指摘し

ていました。

迫間 それ、どうい

うことですか。

畑中 運営費を賄う収

入として、負担金と

補助金のみしか記載

していなかったから

です。

阪谷 で、それが。

畑中 負担金と補助金

のみしか記載してい

なければ、大会とい

う事業によって生じ

る収益金がない、と

思うでしょう。

迫間 それはそうです

ね。書いていなか

れば、「ない」と思うで

しょう。

井上 だからですか。

事業によって生じる

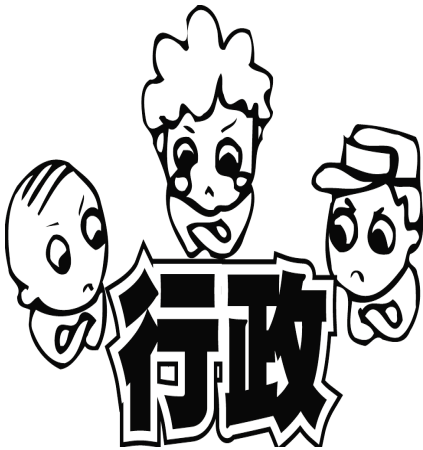
すべての収入がない

と誤信させていると。

畑中 そうです。その

ような収入がないと

誤解を与える、すな



第17回全国市民オンブズ(マン) 北陸・富山大会のご案内

第17回全国市民オンブズ(マン)大会が北陸・富山で次のとおり開催しますのでご案内します。

参加を希望される方は事務局までご連絡下さい。

連絡先 電話073-433-2241 畑中

と き 2010年9月4日(土)・5日(日)

ところ 富山県民共生センター サンフォルテ(富山市湊入船町6-7)

スケジュール(案)

- | | | |
|---------|---------------|--|
| 9月4日(土) | 13:00 ~ | 開会 |
| | 13:05 ~ 13:15 | 実行委員会挨拶 + 基調報告 |
| | 13:15 ~ 13:35 | 「予算編成過程」全体報告 |
| | 13:35 ~ 13:55 | 「全国情報公開度ランキング」全体報告 |
| | 13:55 ~ 14:15 | 政務調査費判例まとめ報告 |
| | 14:15 ~ 14:30 | 行政委員月額報酬問題報告 |
| | 14:30 ~ 14:55 | 談合問題分科会報告 |
| | 14:55 ~ 15:10 | 包括外部監査 表彰 |
| | 15:10 ~ 15:25 | 移動 |
| | 15:25 ~ 17:50 | 【分科会】 政務調査費判例分析 談合
はじめての市民オンブズ(マン) 情報公開・ランキング
議会改革シンポ 行政委員月額報酬 |
| | 18:10 ~ 20:10 | 【懇親会】自遊館(会場隣) |
| 9月5日(日) | 9:00 ~ 10:00 | 「公金検査請求訴訟」「住民訴訟敗訴費用負担」
「議会改革」「議会請求権放棄」報告 |
| | 10:00 ~ 11:30 | 地域活動報告 |
| | 11:30 ~ 12:00 | 提案、決議、大会宣言、NPO 法人化への決意表明 |
| | 13:30 ~ 15:30 | 【交流会】(オプション・会場内) |

県卓球協会幹部らと同行

県教委職員ら 夕食等の接待を受ける



ています。

阪谷 そうか。横浜大会を視察した県教委職員らが知っていたし、視察復命書により、県教委も知らなかったとはいえないからですね。

それに、視察した職員らが交付手続きに関与していたのですから、入場料や企業協賛金収入が欠落した支決報告書が何のチエックもつけず受理され補助金が交付されるといふような

ことは、欠落しているも何ら問題にしないという意を通じていなければ、起こりえない現象であると解す以外にないでしょう。

迫間 なるほど。

井上 畑中さん。それだけではないでしょう。

畑中 ですね。それは、意を通じていることの証のような横浜大会視察旅行だったからです。

井上 公務視察だったにもかかわらず出張した県教委2名の職員は、切符の手配か

らホテルの手配まですべて県卓球協会に委ねていたし、和歌山から同行して、切符代はもとより昼食弁当代に、コーヒー代、それに夕食代に、ホテル代とすべての費用を一旦県卓球協会が支払い、県教委職員らはその内、切符代とホテル代のみしか負担していないのです。

迫間 え——。昼食

や夕食はごちそうになつていたので、ですか。

阪谷 それだけ癒着していれば、意を通じて

ていない訳がない。畑中 県民の常識では、誰もがそう思うでしょう。

井上 当初、県は、国際大会を招致し、経済効果があつた、などと言つて問題ないとしていたのでしよう。ほんと、白々しい。

阪谷 結局は、補助金のバラまき施策だった、ということでしょうか。

井上 経済効果も県卓球協会が企業協賛金などで吸い上げていたようだし。畑中 知事も責任を感じ

じるべきですよ。迫間 私達の血税を安易にバラまかないで、と言いたい。

畑中 ごもつともです。迫間 住民監査請求は、どうなりますか。畑中 「棄却」でしょう。しかし、意味のない棄却ではないのです。

井上 補助金が全額、返還されたからですね。

畑中 ええ、監査委員の出番がなく、最終です。阪谷 今回は、私達の調査が入念で、言い逃れができない、と県も判断したのでしよう。

畑中 県教委職員等も処分されましたから、県教委の責任追及も実った形です。

当面の予定

- 7月20日 PM 4:00 ~
ニュース発送作業日
- 7月28日 PM 6:00 ~
第2回全員会議
- 8月24日 AM 10:00 ~
県議政務調査費違法支出金返
還請求住民訴訟の裁判
- 8月30日 PM 4:00 ~
編集会議
- 9月4 ~ 5日
第17回全国オンブズマン大会
- 9月13日 PM 4:00 ~
ニュース発送作業日
- 9月22日 PM 6:00 ~
第3回全員会議

裁判情報

県議・政務調査費違法 支出金返還請求住民 訴訟

裁判は、6月1日に行われました。この日のことは、前号で、お伝えすることを欠落し、次回7月13日とお伝えしました。しかしながら、7月13日の裁判は取り消しになりました。

この日から、裁判長と裁判官1名が交代しました。

次回、8月24日午前10時からです。

次回会員会議のご案内

日 時 7月28日(水)午後6時 ~

場 所 和歌山市勤労者総合センター
(和歌山市役所西隣 TEL 073-433-1800)

こぞってご参加下さい

【要注意】 前回と同じ2階の会議室です。